

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合												
信託期間	無期限												
主投資対象	しんきん米国債券ETFマザーファンド、しんきんS&P500インデックスマザーファンドおよびしんきんゴールドETFマザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）の各受益証券を主要投資対象とし、短期金融資産にも投資を行います。												
運用方針	①主として各マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行います。												
	②各マザーファンドの受益証券への投資比率は、以下の資産配分比率を目指します。												
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>資産</th> <th>マザーファンド</th> <th>資産配分比率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>米国債券</td> <td>しんきん米国債券ETFマザーファンド</td> <td>60%程度</td> </tr> <tr> <td>米国株式</td> <td>しんきんS&P500インデックスマザーファンド</td> <td>2.5%～20%程度</td> </tr> <tr> <td>金</td> <td>しんきんゴールドETFマザーファンド</td> <td>2.5%～20%程度</td> </tr> </tbody> </table>	資産	マザーファンド	資産配分比率	米国債券	しんきん米国債券ETFマザーファンド	60%程度	米国株式	しんきんS&P500インデックスマザーファンド	2.5%～20%程度	金	しんきんゴールドETFマザーファンド	2.5%～20%程度
	資産	マザーファンド	資産配分比率										
米国債券	しんきん米国債券ETFマザーファンド	60%程度											
米国株式	しんきんS&P500インデックスマザーファンド	2.5%～20%程度											
金	しんきんゴールドETFマザーファンド	2.5%～20%程度											
③ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率を上記の資産配分比率の範囲内で調整し、短期金融資産を組み入れます。（米国株式と金の資産配分は、ほぼ同じ比率とします。）													
④しんきん米国債券ETFマザーファンドについては、原則として為替ヘッジを行います。													
⑤資金動向および市況動向等に急激な変化が生じたとき等やむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができないことがあります。													
主投資制限	①投資信託証券への実質投資割合には、制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。												
収益配分方針	年1回の決算日に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。 ①分配対象額は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。 ②分配金額は、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象収益が少額の場合は、分配を行わないことがあります。												

■運用報告書に関しては、下記にお問い合わせください。

しんきんアセットマネジメント投信株式会社
 <コールセンター> ☎ 0120-781812
 （土日、休日を除く）携帯電話からは03-5524-8181
 9：00～17：00

本資料は投資信託の運用状況を開示するためのものであり、ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

運用報告書（全体版）

しんきんUSバランス・ プラスゴールド（1年決算型） 愛称：米国キラリ

決算日

（第5期：2026年2月25日）


受益者のみなさまへ

平素は格別のお引立てに預かり厚く御礼申し上げます。

さて、ご購入いただいております「しんきんUSバランス・プラスゴールド（1年決算型）」（愛称：米国キラリ）は2026年2月25日に第5期の決算を行いました。

ここに、期中の運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 しんきんアセットマネジメント投信株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋3丁目8番1号

<https://www.skam.co.jp>

目 次

◇しんきんUSバランス・プラスゴールド（1年決算型）	頁
設定以来の運用実績	1
当期中の基準価額と市況等の推移	1
第5期の運用経過等	2
1万口当たりの費用明細	7
売買及び取引の状況	9
利害関係人との取引状況等	9
第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況	9
自社による当ファンドの設定・解約状況	9
組入資産の明細	10
投資信託財産の構成	10
資産、負債、元本及び基準価額の状況	11
損益の状況	11
分配金のお知らせ	11
◇参考情報	
親投資信託の組入資産の明細	13
◇親投資信託の運用報告書	
しんきん米国債券ETFマザーファンド	14
しんきんS&P500インデックスマザーファンド	21
しんきんゴールドETFマザーファンド	28

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、受益者からの資金をまとめてベビーファンドとし、その資金を主としてマザーファンドの受益証券に投資して、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

○設定以来の運用実績

決算期	基準 (分配落)	価額		騰落	中率	投資信託 組入比率	純資産 総額
		税分	込配				
(設定日)	円		円		%		百万円
2021年6月14日	10,000		—		—	—	18
1期(2022年2月25日)	9,921		0	△	0.8	92.4	308
2期(2023年2月27日)	9,302		0	△	6.2	66.5	362
3期(2024年2月26日)	9,312		95		1.1	70.1	375
4期(2025年2月25日)	9,522		180		4.2	86.8	317
5期(2026年2月25日)	10,482		235		12.5	84.0	239

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当ファンドは、海外の複数の資産（債券・株式・金）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

(注4) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

○当期中の基準価額と市況等の推移

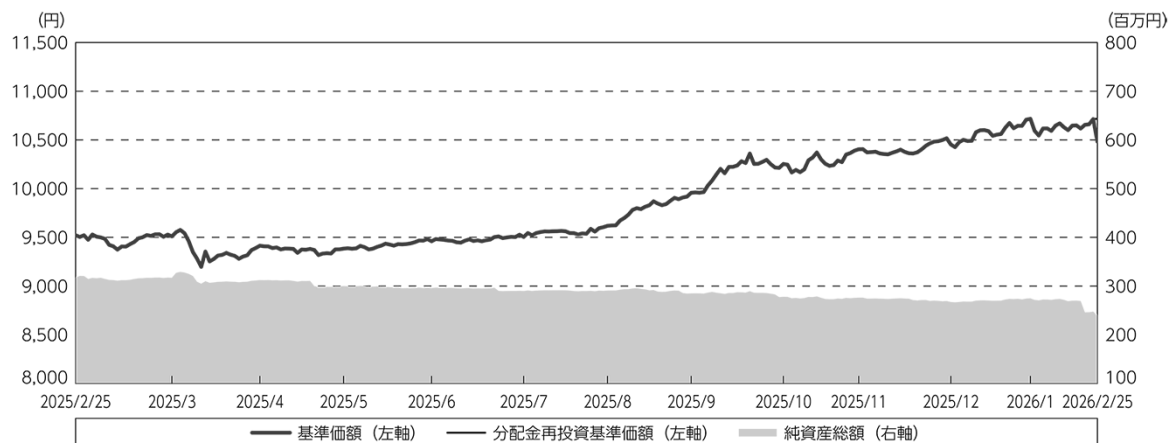
年月日	基準	価額		騰落	率	投資信託 組入比率	託券率
(期首)	円				%		%
2025年2月25日	9,522				—		86.8
2月末	9,475			△	0.5		90.7
3月末	9,510			△	0.1		91.2
4月末	9,414			△	1.1		72.8
5月末	9,384			△	1.4		73.4
6月末	9,460			△	0.7		68.8
7月末	9,504			△	0.2		97.9
8月末	9,618				1.0		97.3
9月末	9,957				4.6		98.7
10月末	10,253				7.7		99.5
11月末	10,404				9.3		88.7
12月末	10,453				9.8		90.6
2026年1月末	10,717				12.5		85.6
(期末)							
2026年2月25日	10,717				12.5		84.0

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、投資信託証券（上場投資信託）の組入比率は実質比率を記載しています。

○第5期の運用経過等（2025年2月26日～2026年2月25日）

<当期中の基準価額等の推移>



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年2月25日)の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

<基準価額の主な変動要因>

当ファンドは、マザーファンドの受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産(米国債券・米国株式・金)に分散投資を行うことで、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行っています。

当期は、米国株式市場と金相場の上昇が基準価額に対してプラスに寄与したことを主因に基準価額は上昇しました。

各マザーファンドの主な変動要因は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ETFマザーファンド

<上昇要因>

- ・ 関税をめぐるインフレ懸念と株安局面のリスク回避が交錯し、債券価格が上昇(利回りは低下)したこと。
- ・ 景気減速懸念や早期利下げ観測が広がったこと。

<下落要因>

- ・ 関税をめぐるインフレ懸念などを背景に、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったこと。

米国株式

●しんきんS&P500インデックスマザーファンド

<上昇要因>

- ・ 経済指標が企業活動や雇用の底堅さを示したこと。
- ・ 米国において2026年以降も利下げが継続される期待が高まったこと。

<下落要因>

- ・トランプ政権の関税政策に対する警戒感が高まったこと。
- ・半導体関連株が下落し、投資家心理が悪化したこと。

金

●しんきんゴールドETFマザーファンド

<上昇要因>

- ・米中貿易摩擦の激化やウクライナ情勢の緊迫化、中東情勢の地政学リスクが高まったこと。
- ・2025年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げが実施されたこと。

<下落要因>

- ・中東情勢の停戦合意に関するトランプ大統領のSNS投稿を受けて、地政学リスクが後退したこと。
- ・トランプ大統領が次期米連邦準備制度理事会（FRB）の議長に、過去にタカ派的な発言のあったケビン・ウォーシュ元FRB理事を指名するとの報道がでたこと。

<投資環境>

(米国債券市況)

当期の米国債券市場は、上昇（利回りは低下）しました。

期首から2025年3月にかけてはおおむね横ばい圏で推移していましたが、4月には関税をめぐるインフレ懸念と株安局面のリスク回避が交錯し、大きく上昇した後、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったことなどを背景に、大きく下落しました。その後、9月までは、景気減速懸念や早期利下げ観測などから上昇基調で推移しました。10月以降は、一進一退の動きとなり、当期を通じては、米国債券市場は上昇しました。

(米国株式市況)

当期の米国株式市場は、上昇しました。

期首から2025年4月にかけては、トランプ政権の関税政策に対する警戒感を背景に、軟調な動きとなりました。その後は、半導体関連株が下落し、投資家心理が悪化したことなどから、売りが優勢となる場面もありましたが、経済指標が企業活動や雇用の底堅さを示したことや、米国において2026年以降も利下げが継続される期待が高まったことなどから、堅調な動きとなり、当期を通じては、米国株式市場は上昇しました。

(金市況)

当期の金相場は、大きく上昇しました。

期首から2025年4月末にかけては、米国の相互関税発表による混乱で下落する場面もありましたが、貿易摩擦への懸念が強まり、安全資産需要が高まったことから買いが優勢となり、最高値を更新する場面もありました。8月末にかけては、米中貿易摩擦の激化やウクライナ情勢の緊迫化、中東情勢の地政学リスクなどを背景に安全資産としての買いが優勢となる場面もありました。しかし、日本を含む諸外国と米国間における関税協議の合意を受けた貿易摩擦の緩和や中東情勢の停戦合意に関するトランプ大統領のSNS投稿を受けた地政学リスクの後退などから、リスク資産が選好され一進一退の動きとなりました。12月末にかけては、FOMCで0.25%の利下げが実施されたことや追加の利下げ期待などから、上昇しました。当期末にかけては、トランプ大統領が次期FRB議長に、過去にタカ派的な発言のあったケビン・ウォーシュ元FRB理事を指名するとの報道などを受けて下落する場面もありましたが、安全資産としての買いが優勢となり、もみ合いながら上昇しました。

(為替市況)

当期の為替（米ドル円）相場は、米ドル高円安となりました。

期首から2025年4月にかけては、米国の相互関税公表を受けたリスク回避の動きなどから、139円前半まで下落し、戻りは限定的でした。5月以降は、上昇基調となり、10月には、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極的な財政出動による財政悪化懸念が広がったことなどから、大きく上昇しました。11月以降は、一進一退の動きとなったものの、当期を通じては、米ドル高円安となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

当ファンドでは、親投資信託である「しんきん米国債券ETFマザーファンド」（米国債券）、「しんきんS&P500インデックスマザーファンド」（米国株式）、「しんきんゴールドETFマザーファンド」（金）の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行いました。

当ファンドは、米国債券の投資比率を「60%程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5～20%程度」の範囲内で調整します。当期は、2025年4月および6月に基準価額の変動リスクが上昇したことから、米国株式と金への投資比率を引き下げましたが、7月に基準価額の変動リスクが下落したことから、米国株式と金への投資比率を引き上げました。その後、11月および2026年1月に基準価額の変動リスクが上昇したことから、米国株式と金への投資比率を再び引き下げました。

また、米国債券については、原則として為替ヘッジを行っています。

当期の各月末および決算日（2026年2月25日）の各資産（該当するマザーファンド）への投資比率は、下表のとおりです。

		米国債券	米国株式	金
2025年	2月	61.2%	14.9%	14.9%
	3月	59.9%	14.4%	15.1%
	4月	59.9%	6.5%	6.4%
	5月	60.0%	6.8%	6.8%
	6月	60.3%	4.4%	4.2%
	7月	60.5%	18.9%	18.7%
	8月	59.7%	18.9%	18.9%
	9月	59.5%	19.5%	19.8%
	10月	60.2%	19.5%	20.0%
	11月	59.4%	14.8%	14.8%
	12月	60.4%	15.3%	14.9%
	2026年	1月	60.0%	12.6%
2月		63.6%	10.1%	10.4%

各マザーファンドの運用経過は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ETFマザーファンド

信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

米国株式

●しんきんS&P500インデックスマザーファンド

S & P 500指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ・コア S & P 500 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

金

●しんきんゴールドETFマザーファンド

金地金価格への連動と信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ ゴールド・トラスト」を主要投資対象として運用を行いました。上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、海外の複数の資産（米国債券・米国株式・金）に分散投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

<分配金>

当期の分配金については、経費控除後の配当等収益や期末の基準価額水準等を勘案して、1万口当たり235円（税込み）としました。

なお、収益分配に充てなかった部分については、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用を行います。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項 目	第5期
	2025年2月26日～ 2026年2月25日
当期分配金	235
（対基準価額比率）	2.193%
当期の収益	235
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	696

（注1）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
（注2）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

＜今後の運用方針＞

引き続き運用の基本方針に従い、主として親投資信託である「しんきん米国債券ETFマザーファンド」(米国債券)、「しんきんS&P500インデックスマザーファンド」(米国株式)、「しんきんゴールドETFマザーファンド」(金)の受益証券への投資を通じて、海外の複数の資産(米国債券・米国株式・金)に分散投資を行います。

各資産への投資比率は、米国債券の投資比率を「60%程度」としつつ、ファンドの基準価額の変動リスクを一定の水準に抑制することを目標として、米国株式と金への投資比率をそれぞれ「2.5~20%程度」の範囲内で調整します。米国株式と金の投資比率は、ほぼ同じ比率とします。

なお、米国債券については、原則として為替ヘッジを行います。

各マザーファンドの運用方針は、次のとおりです。

米国債券

●しんきん米国債券ETFマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場ETF」へ投資することで、実質的に米国の債券に投資を行い、信託財産の成長を目指します。

米国株式

●しんきんS&P500インデックスマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ・コアS&P500ETF」へ投資することで、実質的に米国の株式に投資を行い、S&P500指数(配当込み、円換算ベース)に連動することを目指します。

金

●しんきんゴールドETFマザーファンド

主として上場投資信託である「iシェアーズ ゴールド・トラスト」へ投資することで、金地金価格への連動と信託財産の成長を目指します。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	89	0.902	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(41)	(0.418)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(44)	(0.451)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(3)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	6	0.059	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(6)	(0.059)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数
(投 資 信 託 証 券)	(0)	(0.000)	有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) そ の 他 費 用	10	0.106	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(9)	(0.094)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(1)	(0.005)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(1)	(0.006)	信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	105	1.067	
期中の平均基準価額は、9,845円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等の掛かるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

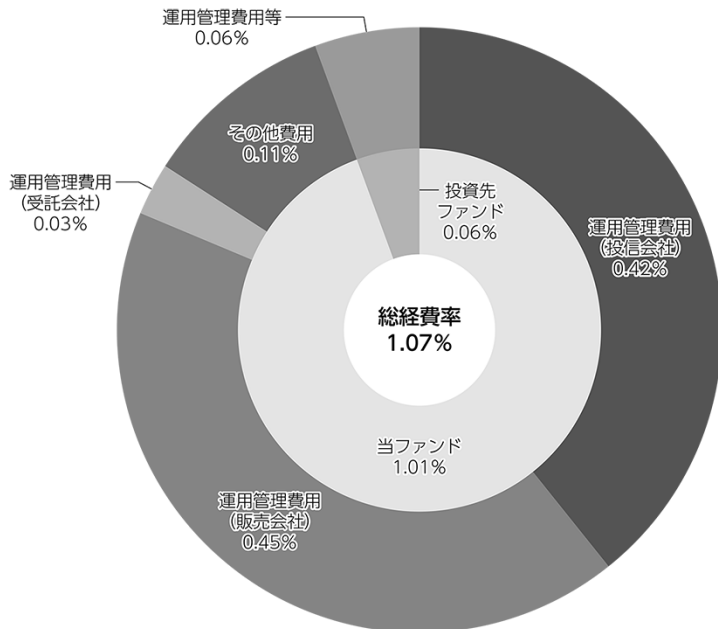
(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.07%です。



(単位:%)

総経費率(①+②)	1.07
①当ファンドの費用の比率	1.01
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	0.06

(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 投資先ファンドとは、当ファンドの親投資信託が組み入れている投資信託証券です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注) 投資先ファンドには運用管理費用等の他に費用がある場合がありますが、上記には含まれておりません。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
	千口	千円	千口	千円
しんきんS&P500インデックスマザーファンド	21,596	46,487	34,483	73,380
しんきん米国債券ETFマザーファンド	23,629	30,713	57,817	76,776
しんきんゴールドETFマザーファンド	20,455	44,747	37,650	94,228

(注) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第二種金融商品取引業を兼業している委託会社の自己取引状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
しんきんS&P500インデックスマザーファンド	22,432	9,546	24,081
しんきん米国債券ETFマザーファンド	141,622	107,435	152,128
しんきんゴールドETFマザーファンド	24,176	6,981	24,955

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「参考情報」または「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2026年2月25日現在)

項 目	当 期 末	比 率
	評 価 額	
	千円	%
しんきんS&P500インデックスマザーファンド	24,081	9.6
しんきん米国債券ETFマザーファンド	152,128	60.6
しんきんゴールドETFマザーファンド	24,955	9.9
コール・ローン等、その他	50,054	19.9
投資信託財産総額	251,218	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) しんきんS&P500インデックスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(100,728,098千円)の投資信託財産総額(100,893,451千円)に対する比率は99.8%です。

(注3) しんきん米国債券ETFマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(152,088千円)の投資信託財産総額(152,132千円)に対する比率は100.0%です。

(注4) しんきんゴールドETFマザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産(24,934千円)の投資信託財産総額(24,955千円)に対する比率は99.9%です。

(注5) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年2月25日現在、1ドル=155.83円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	401,977,150
コール・ローン等	49,975,136
しんきんS&P500インデックスマザーファンド(評価額)	24,081,034
しんきん米国債券ETFマザーファンド(評価額)	152,128,697
しんきんゴールドETFマザーファンド(評価額)	24,955,577
未収入金	150,835,885
未収利息	821
(B) 負債	162,753,067
未払金	152,666,956
未払収益分配金	5,363,012
未払解約金	3,454,703
未払信託報酬	1,260,767
その他未払費用	7,629
(C) 純資産総額(A-B)	239,224,083
元本	228,213,284
次期繰越損益金	11,010,799
(D) 受益権総口数	228,213,284口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,482円

(注1) 当ファンドの期首元本額は333,009,236円、期中追加設定元本額は35,910,225円、期中一部解約元本額は140,706,177円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.0482円です。

○損益の状況 (2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	137,908
受取利息	137,908
(B) 有価証券売買損益	29,141,352
売買益	63,000,697
売買損	△33,859,345
(C) 信託報酬等	△ 2,640,727
(D) 当期損益金(A+B+C)	26,638,533
(E) 前期繰越損益金	△ 6,177,629
(F) 追加信託差損益金	△ 4,087,093
(配当等相当額)	(742,837)
(売買損益相当額)	(△ 4,829,930)
(G) 計(D+E+F)	16,373,811
(H) 収益分配金	△ 5,363,012
次期繰越損益金(G+H)	11,010,799
追加信託差損益金	△ 4,087,093
(配当等相当額)	(805,012)
(売買損益相当額)	(△ 4,892,105)
分配準備積立金	15,097,892

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(5,406,253円)、費用控除後の有価証券売買等損益額(14,426,511円)、信託約款に規定する収益調整金(805,012円)および分配準備積立金(628,140円)より分配対象収益は21,265,916円(10,000口当たり931円)であり、うち5,363,012円(10,000口当たり235円)を分配金額としています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税込み)	235円
----------------	------

◇分配金を再投資される場合のお手取分配金は、自動けいぞく投資約款の規定に基づき、決算日の翌営業日に再投資いたしました。

◇分配金をお受け取りになる場合の分配金は、決算日から起算して5営業日目までにお支払いを開始していません。

◇分配金のお取扱いについては、販売会社にお問い合わせください。

(注1) 分配金は、分配後の基準価額と各受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と非課税扱いとなる「元本払戻金(特別分配金)」(受益者毎の元本の一部払戻しに相当する部分)があります。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額が「普通分配金」となります。分配後の基準価額を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が「元本払戻金(特別分配金)」、残りの部分が「普通分配金」となります。

(注2) 元本払戻金(特別分配金)が発生した場合は、分配金発生時に各受益者の個別元本から当該元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の各受益者の個別元本となります。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

（2026年2月25日現在）

<しんきんS&P500インデックスマザーファンド>

下記は、しんきんS&P500インデックスマザーファンド全体(39,948,816千口)の内容です。

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%
ISHARES CORE S&P 500 ETF	869,701	936,543	646,692	100,774,062	100.0
合 計	口 数 ・ 金 額	口 数	金 額	金 額	比 率
	869,701	936,543	646,692	100,774,062	
	銘柄数 < 比率 >	1	1	-	<100.0% >

(注1) 邦貨換算金額は、2026年2月25日現在の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、このファンドが組み入れている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

<組入上位ETFの保有銘柄の明細>

※BlackRock Inc. 作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信（株）が作成しています。

iShares Core S&P 500 ETF

組入上位10銘柄（2025年3月31日現在）

（組入銘柄数 503銘柄）

	銘 柄 名	比 率 (%)
1	APPLE INC	7.0
2	MICROSOFT CORP	5.9
3	NVIDIA CORP	5.6
4	AMAZON COM INC	3.8
5	META PLATFORMS INC CLASS A	2.6
6	BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	2.0
7	ALPHABET INC CLASS A	1.9
8	BROADCOM INC	1.6
9	ALPHABET INC CLASS C	1.5
10	TESLA INC	1.5

運用報告書

親投資信託

しんきん米国債券ETFマザーファンド

第5期

(決算日：2026年2月25日)

しんきん米国債券ETFマザーファンドの第5期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場している投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①主として上場投資信託証券である「iシェアーズ・コア米国総合債券市場ETF」への投資を行い、実質的に米国の債券に投資を行います。 ②上場投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④同一銘柄の転換社債および新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ⑥外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産	組 入 比 率 総 額
		期 騰 落	中 率		
(設定日)	円		%		百万円
2021年6月14日	10,000		—	—	10
1期(2022年2月25日)	10,065		0.7	100.7	183
2期(2023年2月27日)	10,740		6.7	99.9	220
3期(2024年2月26日)	12,231		13.9	99.9	225
4期(2025年2月25日)	12,768		4.4	99.7	180
5期(2026年2月25日)	14,160		10.9	99.9	152

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万円当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注2) 当ファンドは、上場投資信託証券を通じて米国の債券に投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

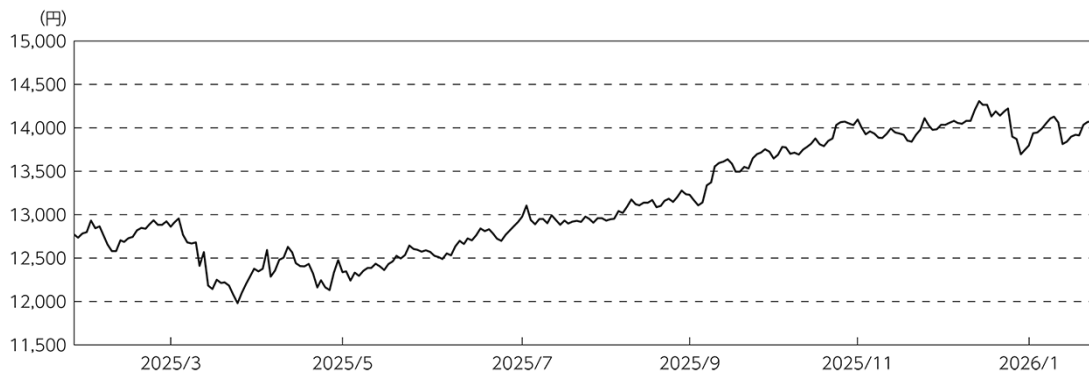
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		投 資 信 託 純 資 産	組 入 比 率 総 額
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2025年2月25日	12,768		—	—	99.7
2月末	12,800		0.3		99.6
3月末	12,861		0.7		102.5
4月末	12,346		△ 3.3		99.8
5月末	12,337		△ 3.4		99.9
6月末	12,573		△ 1.5		99.9
7月末	12,977		1.6		99.9
8月末	12,932		1.3		99.9
9月末	13,230		3.6		99.9
10月末	13,779		7.9		99.9
11月末	14,095		10.4		99.8
12月末	14,059		10.1		99.9
2026年1月末	13,795		8.0		99.9
(期 末)					
2026年2月25日	14,160		10.9		99.9

(注) 騰落率は期首比です。

○第5期の運用経過等（2025年2月26日～2026年2月25日）

<当期中の基準価額等の推移>



当ファンドは、上場投資信託への投資を通じて、実質的に米国の債券に投資を行っています。当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

<上昇要因>

- ・ 関税をめぐるインフレ懸念と株安局面のリスク回避が交錯し、債券価格が上昇（利回りは低下）したこと。
- ・ 景気減速懸念や早期利下げ観測が広がったこと。

<下落要因>

- ・ 関税をめぐるインフレ懸念などを背景に、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったこと。

<投資環境>

(米国債券市況)

当期の米国債券市場は、上昇（利回りは低下）しました。

期首から2025年3月にかけてはおおむね横ばい圏で推移していましたが、4月には関税をめぐるインフレ懸念と株安局面のリスク回避が交錯し、大きく上昇した後、株安、債券安、米ドル安のトリプル安となったことなどを背景に、大きく下落しました。その後、9月までは、景気減速懸念や早期利下げ観測などから上昇基調で推移しました。10月以降は、一進一退の動きとなり、当期を通じては、米国債券市場は上昇しました。

(為替市況)

当期の為替（米ドル円）相場は、米ドル高円安となりました。

期首から2025年4月にかけては、米国の相互関税公表を受けたリスク回避の動きなどから、139円前半まで下落し、戻りは限定的でした。5月以降は、上昇基調となり、10月には、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極的な財政出動による財政悪化懸念が広がったことなどから、大きく上昇しました。11月以降は、一進一退の動きとなったものの、当期を通じては、米ドル高円安となりました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当ファンドは、上場投資信託への投資を通じて、実質的に米国の債券に投資を行っていますが、特定の指数を上回る、または連動を目指した運用を行っていないため、ベンチマークおよび参考指標はありません。

＜今後の運用方針＞

引き続き、主として上場投資信託である「iシェアーズ・コア 米国総合債券市場 ETF」へ投資することで、実質的に米国の債券に投資を行い、信託財産の成長を目指します。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 4 (4)	% 0.034 (0.034)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	10 (10) (0)	0.078 (0.075) (0.003)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	14	0.112	
期中の平均基準価額は、13,148円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	2,699	267	5,266	525

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額		比 率
			外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%
ISHARES CORE U.S. AGGREGATE BOND ETF	12,218	9,651	975	152,030	99.9
合 計	口 数 ・ 金 額	12,218	9,651	975	152,030
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	<99.9%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

<組入上位ETFの保有銘柄の明細>

※BlackRock Inc. 作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

iShares Core U.S. Aggregate Bond ETF

組入上位10銘柄 (2025年2月28日現在)

(組入銘柄数 12,295銘柄)

	銘 柄 名	利 率 (%)	満 期 日	比 率 (%)
1	TREASURY NOTE	4.00	2034/2/15	0.6
2	TREASURY NOTE	1.38	2031/11/15	0.5
3	TREASURY NOTE	4.38	2034/5/15	0.5
4	TREASURY NOTE	4.50	2033/11/15	0.5
5	TREASURY NOTE (20LD)	4.00	2027/12/15	0.5
6	TREASURY NOTE (OLD)	4.25	2034/11/15	0.4
7	TREASURY NOTE (20LD)	3.88	2034/8/15	0.4
8	TREASURY NOTE	3.88	2033/8/15	0.4
9	TREASURY NOTE (OTR)	4.00	2030/2/28	0.4
10	TREASURY NOTE	3.38	2033/5/15	0.4

※マネー・マーケット・ファンドを除いて表示しています。

○投資信託財産の構成

(2026年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	152,030	99.9
コール・ローン等、その他	102	0.1
投資信託財産総額	152,132	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(152,088千円)の投資信託財産総額(152,132千円)に対する比率は100.0%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年2月25日現在、1ドル=155.83円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月25日現在)

○損益の状況 (2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	152,132,193
コール・ローン等	101,393
投資信託受益証券(評価額)	152,030,800
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	152,132,193
元本	107,435,521
次期繰越損益金	44,696,672
(D) 受益権総口数	107,435,521口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,160円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	7,161,976
受取配当金	7,160,413
受取利息	1,563
(B) 有価証券売買損益	10,346,256
売買益	11,284,885
売買損	△ 938,629
(C) 保管費用等	△ 138,003
(D) 当期損益金(A+B+C)	17,370,229
(E) 前期繰越損益金	39,202,216
(F) 追加信託差損益金	7,083,148
(G) 解約差損益金	△18,958,921
(H) 計(D+E+F+G)	44,696,672
次期繰越損益金(H)	44,696,672

(注1) 当親投資信託の期首元本額は141,622,748円、期中追加設定元本額は23,629,852円、期中一部解約元本額は57,817,079円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額しんきんUSバランス・プラスゴールド(1年決算型) 107,435,521円

(注3) 1口当たり純資産額は1.4160円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきんS&P500インデックスマザーファンド

第5期

(決算日：2025年12月22日)

しんきんS&P500インデックスマザーファンドの第5期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場している投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①主として上場投資信託証券である「iシェアーズ・コアS&P 500 ETF」への投資を行い、実質的に米国の株式に投資を行います。 ②上場投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①株式への投資割合には、制限を設けません。 ②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④同一銘柄の転換社債および新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ⑥外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		S & P 5 0 0 指数 (配当込み、円換算ベース) [※] (ベンチマーク)		投資信託 組入比	純資産 率	純資産 額
	騰落	中率	騰落	中率			
(設定日) 2021年4月12日	円 10,000	% —	ポイント 10,000	% —	% —	% —	百万円 155
1期(2021年12月20日)	11,693	16.9	11,697	17.0	100.5		5,879
2期(2022年12月20日)	11,605	△ 0.8	11,632	△ 0.6	99.9		19,403
3期(2023年12月20日)	15,746	35.7	15,813	35.9	99.8		37,744
4期(2024年12月20日)	21,490	36.5	21,633	36.8	99.9		73,685
5期(2025年12月22日)	25,257	17.5	25,472	17.7	99.7		97,325

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本(1万円当たり10,000円)として記載しています。(以下同じ。)

(注2) S&P500指数(配当込み、円換算ベース)は2021年4月12日の値を10,000としてしんきんアセットマネジメント投信が算出したものである。(以下同じ。)

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		S & P 5 0 0 指数 (配当込み、円換算ベース) [※] (ベンチマーク)		投資信託 組入比	純資産 率
	騰落	率	騰落	率		
(期首) 2024年12月20日	円 21,490	% —	ポイント 21,633	% —	% 99.9	
12月末	21,912	2.0	22,053	1.9	99.9	
2025年1月末	21,766	1.3	21,911	1.3	100.2	
2月末	20,396	△ 5.1	20,526	△ 5.1	100.5	
3月末	19,402	△ 9.7	19,549	△ 9.6	100.0	
4月末	18,461	△ 14.1	18,589	△ 14.1	100.0	
5月末	19,827	△ 7.7	19,970	△ 7.7	100.0	
6月末	20,845	△ 3.0	21,013	△ 2.9	100.1	
7月末	22,201	3.3	22,361	3.4	99.8	
8月末	22,334	3.9	22,498	4.0	99.8	
9月末	23,201	8.0	23,383	8.1	100.2	
10月末	24,607	14.5	24,807	14.7	99.8	
11月末	25,004	16.4	25,208	16.5	100.0	
(期末) 2025年12月22日	25,257	17.5	25,472	17.7	99.7	

(注) 騰落率は期首比です。

※S & P 5 0 0 指数[®]はS&P Dow Jones Indices LLCまたはその関連会社(「SPDJ」)の商品であり、これを利用するライセンスがしんきんアセットマネジメント投信株式会社に付与されています。Standard & Poor's[®]およびS&P[®]は、Standard & Poor's Financial Services LLC(「S&P」)の登録商標で、Dow Jones[®]は、Dow Jones Trademark Holdings LLC(「Dow Jones」)の登録商標です。しんきんS & P 5 0 0 インデックスマザーファンドは、SPDJ、Dow Jones、S&P、それらの各関連会社によってスポンサー、保証、販売、または販売促進されているものではなく、これらのいずれの関係者も、かかる商品への投資の妥当性に関するいかなる表明も行わず、S & P 5 0 0 指数[®]のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。

○第5期の運用経過等（2024年12月21日～2025年12月22日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、S & P 500指数（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果を目指して運用を行っています。

当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・米中の貿易交渉進展への期待が高まったこと。
- ・米連邦準備制度理事会（FRB）の利下げ期待が高まったこと。
- ・主要ハイテク企業を中心に幅広い業種で好決算が相次いだことが好感されたこと。

＜下落要因＞

- ・トランプ政権の関税政策への懸念が強まったこと。
- ・トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前予想を上回り、投資家心理が悪化したこと。
- ・複数の米地区連銀総裁が今後の利下げに慎重な姿勢を示したこと。

＜投資環境＞

（米国株式市況）

当期の米国株式市場は、全体として上昇しました。

当期初から2025年2月にかけては、一進一退の動きとなりましたが、3月は、トランプ政権の関税政策への懸念などから軟調な動きとなりました。4月は、トランプ政権が発表した相互関税の規模が事前予想を上回ったことから投資家心理が悪化し、下旬にかけて大幅に下落しました。その後、対中関税の引下げを検討しているとの報道が好感されたことなどから、上昇に転じました。5月から7月にかけては、米中の貿易交渉進展への期待やイスラエルとイランの停戦が成立したことで投資家心理が改善したことなどから、上昇しました。8月から9月にかけては、米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げが決まったことに加えて、年内に追加で0.5%の利下げを実施するとの見通しを示されたことや、人工知能（AI）普及の恩恵を受けるとみられる半導体株などがけん引し、底堅い動きとなりました。その後、期末にかけては、複数の米地区連銀総裁が今後の利下げに慎重な姿勢を示したことを受け、米利下げ期待が後退し、株価の下押し圧力となる場面もありました。しかし、主要ハイテク企業を中心に幅広い業種で好決算が相次いだことや、次期FRB議長に利下

げに積極的な考えを持つとみられるハセット氏が指名されるとの見方が強まり、米利下げ期待が高まったことなどが好感され、上昇基調で推移しました。

（為替市況）

当期の米ドル円為替相場については、期中の変動はあったものの、ほぼ横ばいとなりました。

当期初から2025年3月にかけては、トランプ政権の不透明感などを背景に、下落基調で推移しました。4月は、上旬にトランプ政権が発表した相互関税の規模が事前予想を上回ったことから、急落しました。5月から6月末にかけては、一進一退となりました。7月はFRBの早期利下げ観測が後退したことなどから、上昇しました。8月から9月にかけては、一進一退の動きとなりました。その後、期末にかけては、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極的な財政出動による財政悪化懸念が広がったことなどを背景に、堅調に推移しました。

＜当ファンドのポートフォリオ＞

S & P 500指数（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ・コアS & P 500 E T F」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位の水準を保つように努めました。

＜当ファンドのベンチマークとの差異＞

当期の基準価額の騰落率は+17.5%となり、同期間のベンチマークの騰落率である+17.7%を0.2%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因としては、売買執行コスト、投資先E T Fの分配金に対する課税や上場投資信託における運用コスト等が挙げられます。

＜今後の運用方針＞

引き続き、主として上場投資信託である「iシェアーズ・コアS & P 500 E T F」へ投資することで、実質的に米国の株式に投資を行い、S & P 500指数（配当込み、円換算ベース）に連動することを目指します。

○1万口当たりの費用明細

(2024年12月21日～2025年12月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 1 (1)	% 0.004 (0.004)	(a)売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	0 (0)	0.000 (0.000)	(b)有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	3 (3) (0)	0.012 (0.012) (0.000)	(c)その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	4	0.016	
期中の平均基準価額は、21,663円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2024年12月21日～2025年12月22日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES CORE S&P 500 ETF	192,706	114,499	86,567	56,006

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年12月21日～2025年12月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年12月22日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末		比 率	
	口 数	口 数	評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
ISHARES CORE S&P 500 ETF	794,134	900,273	615,327	96,987,935	99.7	
合 計	口 数 ・ 金 額	794,134	900,273	615,327	96,987,935	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	<99.7%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

<組入上位ETFの保有銘柄の明細>

※BlackRock Inc. 作成のANNUAL REPORTの内容を基に、しんきんアセットマネジメント投信(株)が作成しています。

iShares Core S&P 500 ETF

組入上位10銘柄 (2025年3月31日現在)

(組入銘柄数 503銘柄)

	銘 柄 名	比 率 (%)
1	APPLE INC	7.0
2	MICROSOFT CORP	5.9
3	NVIDIA CORP	5.6
4	AMAZON COM INC	3.8
5	META PLATFORMS INC CLASS A	2.6
6	BERKSHIRE HATHAWAY INC CLASS B	2.0
7	ALPHABET INC CLASS A	1.9
8	BROADCOM INC	1.6
9	ALPHABET INC CLASS C	1.5
10	TESLA INC	1.5

○投資信託財産の構成

(2025年12月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	96,987,935	98.5
コール・ローン等、その他	1,431,796	1.5
投資信託財産総額	98,419,731	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産 (98,302,848千円) の投資信託財産総額 (98,419,731千円) に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2025年12月22日現在、1ドル=157.62円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年12月22日現在)

○損益の状況 (2024年12月21日～2025年12月22日)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	99,553,928,405
コール・ローン等	1,431,796,003
投資信託受益証券(評価額)	96,987,935,172
未収入金	1,134,196,487
未収利息	743
(B) 負債	2,228,233,606
未払金	1,218,233,606
未払解約金	1,010,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	97,325,694,799
元本	38,533,919,104
次期繰越損益金	58,791,775,695
(D) 受益権総口数	38,533,919,104口
1万口当たり基準価額(C/D)	25,257円

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,042,727,345
受取配当金	1,042,454,040
受取利息	273,305
(B) 有価証券売買損益	14,437,041,889
売買益	14,884,394,796
売買損	△ 447,352,907
(C) 保管費用等	△ 10,410,361
(D) 当期損益金(A+B+C)	15,469,358,873
(E) 前期繰越損益金	39,396,874,203
(F) 追加信託差損益金	8,798,024,593
(G) 解約差損益金	△ 4,872,481,974
(H) 計(D+E+F+G)	58,791,775,695
次期繰越損益金(H)	58,791,775,695

(注1) 当親投資信託の期首元本額は34,288,827,723円、期中追加設定元本額は8,129,686,407円、期中一部解約元本額は3,884,595,026円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額
しんきんS&P500インデックスファンド 38,517,817,116円
しんきんUSバラン・プラスゴールド(1年決算型) 16,101,988円

(注3) 1口当たり純資産額は2,5257円です。

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)

運用報告書

親投資信託

しんきんゴールドETFマザーファンド

第5期

(決算日：2026年2月25日)

しんきんゴールドETFマザーファンドの第5期に係る運用状況をご報告申し上げます。

○当ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限
主要投資対象	米国の金融商品取引所に上場している投資信託証券（以下「上場投資信託証券」といいます。）を主要投資対象とします。
運用方針	①主として上場投資信託証券に投資を行い、金地金価格への連動を目指します。なお、上場投資信託証券の選定および変更にあたっては、当ファンドの商品性および運用上の効率性等を勘案し委託者の判断により決定するものとします。 ②上場投資信託証券の組入比率は、原則として高位を保ちます。 ③運用対象とする有価証券の価格変動リスクを回避するため、有価証券先物取引、有価証券指数等先物取引および有価証券オプション取引を行うことができます。 ④組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。 ⑤市況動向あるいは資金動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。
投資制限	①株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ②新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ③投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ④同一銘柄の転換社債および新株予約権付社債への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ⑤同一銘柄の新株引受権証券および新株予約権証券への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。 ⑥外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額	期 騰 落 中 率	投 資 信 託 純 資 産	組 入 比 率	証 券 率	額
(設定日) 2021年6月14日	10,000	—			—	3
1期(2022年2月25日)	10,533	5.3			93.2	53
2期(2023年2月27日)	11,511	9.3			99.9	10
3期(2024年2月26日)	13,972	21.4			99.9	18
4期(2025年2月25日)	19,981	43.0			99.3	48
5期(2026年2月25日)	35,744	78.9			99.8	24

(注1) 当初設定時の基準価額は当初元本（1万口当たり10,000円）として記載しています。（以下同じ。）

(注2) 当ファンドは、上場投資信託証券へ投資することで、金地金価格への連動を目指していますが、特定のベンチマークおよび参考指標はありません。

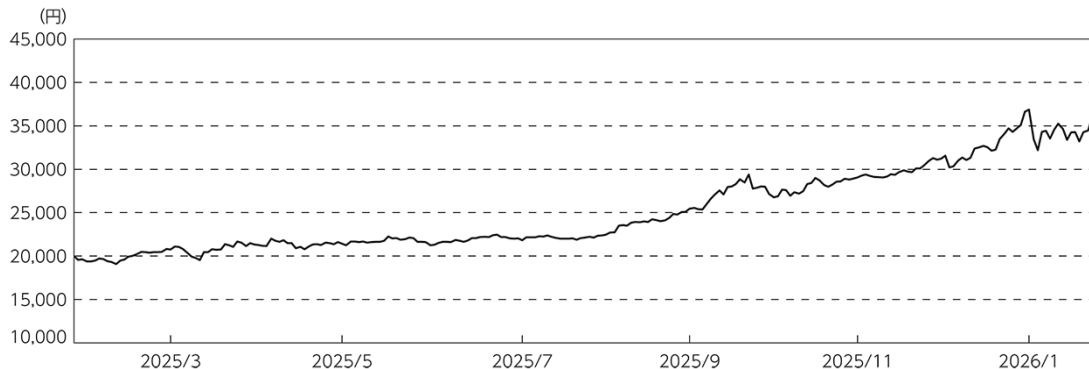
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率	投 資 信 託 純 資 産	組 入 比 率	証 券 率	額
(期 首) 2025年2月25日	19,981	—			—	99.3
2月末	19,381	△ 3.0			99.3	101.9
3月末	20,751	3.9			99.7	99.7
4月末	21,275	6.5			99.7	99.7
5月末	21,422	7.2			99.7	99.7
6月末	21,242	6.3			99.7	99.7
7月末	21,822	9.2			99.9	99.9
8月末	22,456	12.4			99.8	99.8
9月末	25,448	27.4			99.9	99.9
10月末	27,646	38.4			99.9	99.9
11月末	29,069	45.5			98.6	99.8
12月末	30,218	51.2			99.8	99.9
2026年1月末	36,867	84.5			99.9	99.9
(期 末) 2026年2月25日	35,744	78.9			99.8	99.8

(注) 騰落率は期首比です。

○第5期の運用経過等（2025年2月26日～2026年2月25日）

＜当期中の基準価額等の推移＞



当ファンドは、上場投資信託に投資を行い、金地金価格への連動を目指して運用を行っています。当期の基準価額は上昇しました。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

＜上昇要因＞

- ・米中貿易摩擦の激化やウクライナ情勢の緊迫化、中東情勢の地政学リスクが高まったこと。
- ・2025年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）で0.25%の利下げが実施されたこと。

＜下落要因＞

- ・中東情勢の停戦合意に関するトランプ大統領のSNS投稿を受けて、地政学リスクが後退したこと。
- ・トランプ大統領が次期米連邦準備制度理事会（FRB）の議長に、過去にタカ派的な発言のあったケビン・ウォーシュ元FRB理事を指名するとの報道がでたこと。

＜投資環境＞

（金市況）

当期の金相場は、大きく上昇しました。

期首から2025年4月末にかけては、米国の相互関税発表による混乱で下落する場面もありましたが、貿易摩擦への懸念が強まり、安全資産需要が高まったことから買いが優勢となり、最高値を更新する場面もありました。8月末にかけては、米中貿易摩擦の激化やウクライナ情勢の緊迫化、中東情勢の地政学リスクなどを背景に安全資産としての買いが優勢となる場面もありました。しかし、日本を含む諸外国と米国間における関税協議の合意を受けた貿易摩擦の緩和や中東情勢の停戦合意に関するトランプ大統領のSNS投稿を受けた地政学リスクの後退などから、リスク資産が選好され一進一退の動きとなりました。12月末にかけては、FOMCで0.25%の利下げが実施されたことや追加の利下げ期待などから、上昇しました。当期末にかけては、トランプ大統領が次期FRB議長に、過去にタカ派的な発言のあったケビン・ウォーシュ元FRB理事を指名するとの報道などを受けて下落する場面もありましたが、安全資産としての買いが優勢となり、もみ合いながら上昇しました。

(為替市況)

当期の為替（米ドル円）相場は、米ドル高円安となりました。

期首から2025年4月にかけては、米国の相互関税公表を受けたリスク回避の動きなどから、139円前半まで下落し、戻りは限定的でした。5月以降は、上昇基調となり、10月には、自民党総裁選における高市氏の勝利を背景に、日銀が利上げを進めづらくなるとの見方や、積極的な財政出動による財政悪化懸念が広がったことなどから、大きく上昇しました。11月以降は、一進一退の動きとなったものの、当期を通じては、米ドル高円安となりました。

<当ファンドのポートフォリオ>

金地金価格への連動と信託財産の成長を目指し、上場投資信託である「iシェアーズ ゴールド・トラスト」を主要投資対象として運用を行いました。

上場投資信託の組入比率は、高位を保つように努めました。

<当ファンドのベンチマークとの差異>

当ファンドは、上場投資信託へ投資することで、金地金価格への連動を目指して運用を行っていますが、特定のベンチマークおよび参考指標はありません。

<今後の運用方針>

引き続き、主として上場投資信託である「iシェアーズ ゴールド・トラスト」へ投資することで、金地金価格への連動と信託財産の成長を目指します。

○1万口当たりの費用明細

(2025年2月26日～2026年2月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (投 資 信 託 証 券)	円 67 (67)	% 0.272 (0.272)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (投 資 信 託 証 券)	1 (1)	0.002 (0.002)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	87 (84) (4)	0.352 (0.337) (0.014)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	155	0.626	
期中の平均基準価額は、24,799円です。			

(注1) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注2) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数点以下第3位未満は四捨五入しています。

○売買及び取引の状況

(2025年2月26日～2026年2月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	口	千ドル	口	千ドル
	ISHARES GOLD TRUST	5,423	344	9,511	666

(注1) 金額は受渡代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2025年2月26日～2026年2月25日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2026年2月25日現在)

外国投資信託証券

銘 柄	期首(前期末)		当 期 末			
	口 数	口 数	評 価 額		比 率	
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(アメリカ)	口	口	千ドル	千円	%	
ISHARES GOLD TRUST	5,733	1,645	159	24,916	99.8	
合 計	口 数 ・ 金 額	5,733	1,645	159	24,916	
	銘 柄 数 < 比 率 >	1	1	-	<99.8%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2026年2月25日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	24,916	99.8
コール・ローン等、その他	39	0.2
投資信託財産総額	24,955	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(24,934千円)の投資信託財産総額(24,955千円)に対する比率は99.9%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価を我が国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。2026年2月25日現在、1ドル=155.83円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年2月25日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	24,955,867
コール・ローン等	39,585
投資信託受益証券(評価額)	24,916,282
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A-B)	24,955,867
元本	6,981,753
次期繰越損益金	17,974,114
(D) 受益権総口数	6,981,753口
1万口当たり基準価額(C/D)	35,744円

(注1) 当親投資信託の期首元本額は24,176,285円、期中追加設定元本額は20,455,815円、期中一部解約元本額は37,650,347円です。

(注2) 当親投資信託を投資対象とする投資信託の当期末元本額しんきんUSバランス・プラスゴールド(1年決算型) 6,981,753円

(注3) 1口当たり純資産額は3.5744円です。

○損益の状況 (2025年2月26日~2026年2月25日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	297
受取利息	297
(B) 有価証券売買損益	26,276,449
売買益	27,714,007
売買損	△ 1,437,558
(C) 保管費用等	△ 145,713
(D) 当期損益金(A+B+C)	26,131,033
(E) 前期繰越損益金	24,129,549
(F) 追加信託差損益金	24,291,185
(G) 解約差損益金	△56,577,653
(H) 計(D+E+F+G)	17,974,114
次期繰越損益金(H)	17,974,114

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<約款変更のお知らせ>

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(2025年4月1日実施)